

事例6

単元 防災・安全への関心を高め、地域の一員としてできることを考える (第3学年 全7時間)	英語の目標 「読むこと」ウ
--	-------------------------

単元を通して育成を目指す資質・能力 まとまりのある文章を読んで、その要点を捉える力	学習評価のキーワード 「読むこと」における「思考・判断・表現」の評価
---	--

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「まとまりのある文章を読んで、その要点を捉える力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

防災・安全についての英文を読んで概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝え合ったり、意見文を書いたりすることができる。

(2) 評価規準（「読むこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 間接疑問文や SVOO(what 節)、現在分詞、過去分詞に関する事項を理解している。 ・ 間接疑問文や SVOO(what 節)、現在分詞、過去分詞などの意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 	防災・安全についての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えている。	防災・安全についての他者の意見を知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要、要点を捉えようとしている。

※ここでは、「読むこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「書くこと」などの他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

2 指導と評価の計画（全7時間）

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	■単元の目標を理解する。 ①防災・安全に関する写真や映像を見る。 ②自己目標を設定する。 ■防災設備についてペアで伝え合ったことを書く。 ③Teacher talk (防災設備について) を聞く。 ④学校内の防災設備の場所についてペアで伝え合う。 ⑤教師とやり取りを行いながら、間接疑問文の特徴やきまりに気付く。 ⑥学校内の防災設備の場所について再度ペアで伝え合う。 ⑦ペアで伝え合ったことを書く。				<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・表現することが十分ではない生徒に対しては、例文を提示し、その一部を変えて表現するように促す(言語活動等⑥)。 </div>

	⑧教科書本文の内容理解を通して、間接疑問文の特徴やきまりを理解する。				
2	<p>■災害対策についてペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>①Teacher talk（災害対策について）を聞く。</p> <p>②災害時のための防災用具についてペアで伝え合う。</p> <p>③教師とやり取りを行いながら、SVOO(what節)の特徴やきまりに気付く。</p> <p>④災害時のための防災用具について再度ペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>⑥教科書本文の内容理解を通して、SVOO(what節)の特徴やきまりを理解する。</p>	<p>本時では、【指導に生かす評価】を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現することが十分ではない生徒に対しては、例文を提示し、その一部を変えて表現するよう促す(言語活動等④)。 			
3	<p>■災害時に必要な情報が得られる標識についてペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>①Teacher talk（災害時に必要な情報が得られる標識について）を聞く。</p> <p>②災害時に必要な情報が得られる標識についてペアで伝え合う。</p> <p>③教師とやり取りを行いながら、現在分詞や過去分詞の特徴やきまりに気付く。</p> <p>④災害時に必要な情報が得られる標識について再度ペアで伝え合う。</p> <p>⑤ペアで伝え合ったことを書く。</p> <p>⑥教科書本文の内容理解を通して、現在分詞や過去分詞の特徴やきまりを理解する。</p>	<p>本時では、【指導に生かす評価】を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現することが十分ではない生徒に対しては、例文を提示し、その一部を変えて表現するよう促す(言語活動等④)。 			
4	<p>■教科書本文の概要を捉え、自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>①教科書本文を読む前に教師とやり取りを行い、本文の内容を予想する。</p> <p>②教科書本文を読み、おおまかな内容を捉える。</p> <p>③本文の内容の流れに合うように絵を並べ替えたり、内容を時系列で表にまとめたりする。</p> <p>④内容を整理した表を用いて、本文の内容とその内容に対する自分の考えなどを、複数のペアで伝え合う。</p> <p>⑤概要を捉える読み方について、教師の説明を聞く。</p>	<p>本時では、【指導に生かす評価】を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りが十分ではない生徒に対しては、時を表す語句に着目して読むよう促す(言語活動等③)。 			

5 本時	<p>■教科書本文の要点を捉え、自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>①教科書本文を読む前に教師とやり取りを行い、全体のおおまかな内容を捉える。</p> <p>②①で捉えたおおまかな内容や教科書本文のタイトルから、その要点を予想する。</p> <p>③教科書本文を読み、各段落において書き手が最も伝えたいことを表す文を選び、印を付ける。その後、それらの中から教科書本文において書き手が最も伝えたいことを表す文を選ぶ。</p> <p>④グループ内で選んだ文を共有し、検討する。</p> <p>⑤全体で各グループが選んだ文を共有し、検討する。</p> <p>⑥⑤で検討した教科書本文において書き手が最も伝えたいことに対する自分の考えなどを、複数のペアで伝え合う。</p> <p>⑦要点を捉える読み方について、教師の説明を聞く。</p>	<p>本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りが十分でない生徒に対しては、各段落の最初や最後の文に着目して読むよう促す(言語活動等③)。
6	<p>■教科書本文全体のテーマについて自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>①教科書本文全体を読み、内容を確認する。</p> <p>②教科書本文全体のテーマに対する自分の考えなどを、複数のペアで伝え合う。</p> <p>③ペアで伝え合ったことを全体で共有する。</p> <p>④③を踏まえ、テーマに対する自分の考えなどを、再度ペアで伝え合う。</p> <p>⑤④で伝え合ったことを踏まえ、自分の考えなどを再構築し、その内容を書く。</p>	<p>本時では、〔指導に生かす評価〕を行います。</p> <p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり取りしたことを踏まえて、自分の考えを書くよう促す(言語活動等⑤)。
7	<p>■意見文を読んで、概要や要点を捉え、自分の感想や考えを伝え合う。</p> <p>①防災・安全についての意見文を読み、概要や要点を捉える。</p> <p>②書き手が最も伝えたいことに対する自分の考えなどを複数のペアで伝え合う。</p> <p>③②で伝え合ったことを踏まえ、自分の考えなどを再構築し、その内容を書く。</p> <p>④自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>	<p>ここでは、〔記録に残す評価〕を行います。</p> <p>○ ○ [ワークシート]</p>
後日	<p>ペーパーテスト (p. 9)</p> <p>(防災・安全についてまとまりのある文章を読み、その要点を捉える:「読むこと」の評価問題)</p>	<p>ここでは、〔記録に残す評価〕を行います。</p> <p>○ [定期テスト]</p>

※第1時から第6時においては、〔記録に残す評価〕は行いませんが、毎時間のねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、〔指導に生かす評価〕を行います。〔記録に残す評価〕は、第7時の〔ワークシート〕と後日の〔定期テスト〕において行います。

3 本時[第5時]

(1) 本時のねらい

教科書本文の要点を捉え、自分の考えなどを伝え合う。

(2) 本時の展開

言語活動等	教師の指導のポイント
①教科書本文を読む前に教師とやり取りを行い、全体のおおまかな内容を捉える。	・教科書本文の場面や状況を把握できるようグラフや写真、イラストなどを用いて生徒とやり取りを行う（ p. 6 資料1 ）。
②①で捉えたおおまかな内容や教科書本文のタイトルから、その要点を予想する。	・①で捉えたおおまかな内容や教科書本文のタイトルから要点を予想することで、書き手が最も伝えたいことは何か推測しながら読むことができるようにする（ p. 6 資料1 ）。
③教科書本文を読み、各段落において書き手が最も伝えたいことを表す文を選び、印を付ける。その後、それらの中から教科書本文において書き手が最も伝えたいことを表す文を選ぶ。	・書き手が最も伝えたいことを捉える手掛かりとして、各段落の最初や最後の文に着目して読むよう促す。
④グループ内で選んだ文を共有し、検討する。	・机間指導を行い、各グループでどのような考えが出ているか把握する。
⑤全体で各グループが選んだ文を共有し、検討する。	・各グループが選んだ文を比較し、全体で意見交換するなどして、各段落及び教科書本文の書き手が最も伝えたいことを表す文について検討する（ p. 8 資料2 ）。
⑥⑤で検討した教科書本文の書き手が最も伝えたいことに対する自分の考えなどを、複数のペアで伝え合う。	・生徒が円滑にやり取りできるよう、自分の考えなどの述べ方を確認し、教師がデモンストレーションを行う。
⑦要点を捉える読み方について、教師の説明を聞く。	・*「最も重要な部分を読み取るポイント」について確認する。

※「最も重要な部分を読み取るポイント」については、[事例7](#)p.7を御参照ください。

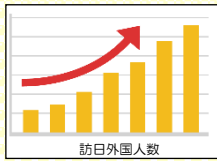
4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例において「まとまりのある文章を読んで、その要点を捉える力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介します。

(1) 要点を予想するための活動の工夫

本時の言語活動等①「教科書本文を読む前に教師とやり取りを行い、全体のおおまかな内容を捉える」及び言語活動等②「①で捉えたおおまかな内容や教科書本文のタイトルから、その要点を予想する」における教師と生徒とのやり取りの実際を示します（pp. 5-6 資料1）。文章全体を通して読む際に、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何であるかを推測しながら読むことが大切です。そのため、教科書本文を読む前に、その場面や状況を把握できるようなグラフや写真、イラストなどを用いて生徒とやり取りを行ったり、本文のタイトルを提示したりして、書き手が最も伝えたいことは何かを予想させます。

【言語活動等①：教科書本文を読む前に教師とやり取りを行い、全体のおおまかな内容を捉える】

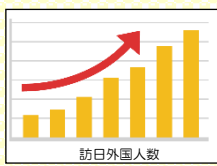


Today, we are going to read an article about disaster supports for foreign people. The writer reports how the city helps them. Before reading, I'll show you a graph and pictures in the article. Look at this graph. What can you see from this graph?

Well..., every year many foreign people come to Japan.



The number is increasing.



Right. Today, a lot of foreign people come to live in Japan. They really enjoy it, but sometimes they need help. For example, in an earthquake. Some foreign people don't know what to do when disasters happen.

I see.



Next, look at this picture. What are these foreign people doing?

They are running to the gym.



They are wearing helmets. 何かの訓練ですか?



Yes, this is a picture of a training, an evacuation drill, for foreign residents and visitors in the city, Tokyo.

Evacuation drill for foreign people? Wow, surprising.



へー。日本に住んでいる外国人や観光客のための避難訓練があるんだね。



And also, this is an evacuation map for them. Actually, junior high school students in the city made it.

Oh, that's great.



同じ中学生が外国人のために英語で作ったんだ!すごいな。



【言語活動等②：①で捉えたおおまかな内容や教科書本文のタイトルから、その要点を予想する】



Now you know some supports for foreign people for a disaster in this city.
Then, let's take a look at the article. What is the title?



“What can we do to help each other in a disaster?”



That's right. Its title is “What can we do to help each other in a disaster?”
What does the writer want to tell in this article? Think about it. Any ideas?



タイトルに“help each other”とあるので、災害の時にみんなで助け合おうということかなと思いました。



Good guess! You think the writer wants to tell it is important to help each other when disasters happen. Any other ideas?



災害時の外国人へのサポートについて触れてあったから、その人達のためにできることを考えようということ伝えたいのかなと考えました。日本は自然災害も多いので。



I see. Maybe, the writer wants us to think the ways to support foreign people when disasters occur. Anything else?



書き手が言いたいことは... We have to ... 備える for a disaster.



Right. Japan has a lot of natural disasters, so we have to prepare for them.
Then let's read the article and catch what the writer wants to tell the most.
After reading, we are going to discuss about it in groups. OK?



OK.



When you read the article, please do two things.
First, find one important sentence in each paragraph and underline it.
Second, choose the most important sentence from them.
It could be what the writer wants to tell the most in this article.

【資料1 要点を予想するための教師と生徒とのやり取りの実際】

(2) 要点を捉えるための活動の工夫

本時の言語活動等⑤「全体で各グループの選んだ文を共有し、検討する」における教師と生徒とのやり取りの一部を、【全体で各グループの選んだ文を共有する場面】と【全体で書き手が最も伝えたいことを表す文を検討する場面】に分けて示します (pp. 7-8 資料2)。教科書本文の要点を捉えることができるように、各段落における最も大切な文を選び、それらを比較するなどして、書き手が一番伝えたいことについて意見交換を行います。その際、生徒とやり取りを行いながら「最も重要な部分を読み取るポイント」を指導することが大切です。

※教師と生徒とのやり取りの中で、「最も重要な部分を読み取るポイント」に当たる部分に下線を引いています。

【全体で各グループの選んだ文を共有する場面】



This article has four paragraphs. Each paragraph has one important sentence. Did you find them?
Please tell us each of them. Group 1, please.

第1段落の important sentence is "sentence A." 第2段落は"sentence B", 第3段落は"sentence C", 第4段落は "sentence D"を選びました。



Group 1



Thank you. Which one is the most important sentence, A, B, C or D?
And why?

We think ... "sentence A" in the first paragraph is the most important ... because ... I see the words "prepare" and "help" many times ... in the article. "Sentence A" has ... both of them.



Group 1



Well noticed! As you say, important words are often repeated. The title of this article has the word "help" too. And also, the important points are often written in the first paragraph.

Thank you, group 1. Any other ideas? Group 2, please.

グループ1と同じです。第1段落は "sentence A." 第2段落は"sentence B", 第3段落は"sentence C", 第4段落は "sentence D"を選びました。



Group 2



I see. Which one is the most important sentence, A, B, C or D?

We think 第4段落目の"sentence D" is the most important because it is important to help each other when disasters happen.



Group 2



【全体で書き手が最も伝えたいことを表す文を検討する場面】



Thank you, everyone. Now we have two choices, “sentence A” and “sentence D” as the most important sentence in this article. Which one is the most important? Choose either “sentence A” or “sentence D.” And, why do you think so? Anyone?



“Sentence A”だと思っていたけど... Now I think ... “sentence D” in the last paragraph is the most important sentence.



Why did you change your idea?



I see the words “prepare” and “help” many times in the last paragraph too. それから... I think we have to help foreign people ... 自然災害のときに。



I see. I understand your reason. Any other ideas?



“Sentence D” in the last paragraph is the most important. 最後の段落に、書き手の一番言いたいことが書かれていることが多いと思います。



Good suggestion! As you say, the important points of an article are often written in the last paragraph.



I think “sentence D” is the most important too. I think ... the writer wants us to find ... what we can do ... for ... 困っている人に。 That is the message ... from the writer .



Right. This writer writes his message in the last paragraph. He wants us to think about how we can help each other and work together.

【資料2 要点を捉えるための教師と生徒とのやり取りの一部】



要点を把握するだけで終わるのではなく、それに対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりする※領域統合型の言語活動も取り入れてみましょう。

※領域統合型の言語活動については、[事例4](#)及び[事例5](#)を御参照ください。

5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストする
必要があります。ここでは、そのための評価問題と採点の基準の例を示します。



(1) 後日のペーパーテスト（「読むこと」）

定期テストにおいて、「まとまりのある文章を読んで、その要点を捉える力」を見取るために、「読むこと」の評価問題を出題しています（資料3）。「思考・判断・表現」の評価問題です。

【指示文】

あなたが住んでいる地域の回覧板の一部に外国人市民向けの記事が載っています。この記事のタイトルをアからエの中から1つ選びなさい。

Are you prepared for a disaster? In recent years, many kinds of disaster often happen in Japan. For example, we have big typhoons, heavy rain, and earthquakes.

Do you know what you should do when these disasters happen in Japan? If you don't know, please do these two things now.

First, get a disaster prevention handbook written in English. You can get it in a city hall or download it from the website. It contains useful information for a disaster. You can know what you should do to prepare for a disaster.

Second, check the handbook with your family and friends. You should fill in a disaster prevention sheet in the handbook by yourself, and always bring it with you. And also, you should talk about your designated evacuation area and how to contact with your family and friends.

It is very important for us to be prepared for a disaster. Please do what you can do beforehand. You cannot be too prepared for it.

- ア Many kinds of disaster in Japan.
- イ Get a disaster prevention handbook in English.
- ウ Talk with your family and friends about a disaster.
- エ Be prepared for a disaster.

【資料3 評価問題】

① 採点の基準の例

1	<p>各段落の内容を理解した上で、書き手が最も伝えたいことを正確に読み取ることができるもの</p> <p>【正答】エ</p>	2 点
2	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の内容を理解することができていないために、書き手が最も伝えたいことを読み取ることができていないもの ・各段落に書かれている要旨を比較して、書き手が最も伝えたいことを判断することができていないもの ・文中で何度も繰り返し用いられている“prepare”という単語を手掛かりに、書き手が最も伝えたいことを判断することができていないもの <p style="text-align: right;">など</p> <p>【誤答】ア, イ, ウ</p>	0 点